

大麦栽培特報 第5号

1. 赤かび病の防除について

生育は27年産に比べ、10日程度早くなっていますので、適期の防除に努めましょう。

予想される1回目防除時期（穂揃期＝開花始め）

4月14日頃

2回目防除時期（1回目の1週間後）

4月21日頃

※穂揃期と、その1週間後に2回目防除を確実に行いましょう。

各防除時期の使用薬剤と10a当たりの散布量

	液剤	粉剤
1回目	トップジンM水和剤 150g + 水 150ℓ	トップジンM粉剤DL 4kg
2回目	シルバキュアフロアブル 75mℓ + 水 150ℓ	ワークアップ粉剤DL 3kg

○液剤による防除の場合、防除の後、1時間程度（液剤が乾く時間）雨が降らなければ、一定の効果が得られますので、雨天日でも短い晴れ間を利用して、適期の防除に努めましょう。

○農薬散布にあたっては、事前に散布エリアへの周知を図るとともに、他作物へ飛散（ドリフト）しないよう、風の弱い時間帯の散布に努めましょう。

2. 出穂後の登熟条件を良好にするため、圃場内排水に努めましょう。

殿		
出穂期予想	1回目防除	2回目防除
＜営農指導員からのコメント＞		